

# 京都府行財政改革支援等特別交付金 自己評価調書

団体名

京丹後市

## 2. 平成25年度 行財政改革支援等特別交付金事業の個別評価について

支援区分		事業名・実施項目		
行財政改革推進枠		峰山統合保育所整備事業		
事業着手前				
課題・現状	本市の公立保育所は平成16年の6町合併から2か所1分園減少し、現在27か所の設置となっているが、近年に建設及び改修した保育所を除いては、昭和40年代から50年代に建設されたもので、老朽化が著しいものもあり、これまで維持補修に努めてきたものの、快適な保育環境の保持には多くの修繕費が必要な状況となっている。また、旧耐震基準で設計し建築された保育所施設については、平成21年度から耐震診断を実施した結果、すべての建物で補強あるいは改修が必要であることが判明している。			
事業概要	<p>峰山町域の保育所のうち、吉原保育所、長岡保育所、新山保育所及び丹波保育所については、大規模地震の際に倒壊する危険性が高く、耐震補強等が不可能と判断された。安全で安心できる保育環境を確保する必要があることから、統合保育所が完成するまでの間、仮設保育所を借り上げ保育を実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・利用予定期間：平成24年4月～平成26年3月（2か年）</li> <li>・設置箇所：旧吉原小学校クラウンド</li> <li>・保育所規模：200人程度の児童が通所可能</li> </ul>			
期待される事業効果等	保育所再編等推進計画に基づく適正規模での公立保育所運営により、将来に渡る人件費及び維持管理経費の抑制が期待できる。			
事業実績				
取組状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用予定期間：平成24年4月～平成26年3月（2か年）</li> <li>・設置箇所：旧吉原小学校クラウンド</li> <li>・保育所規模：200人程度の児童が通所可能</li> </ul>			
主な実績数値 (出来高数値等)	吉原保育所、長岡保育所、新山保育所及び丹波保育所の4つの保育所を廃止し、統合保育所が完成するまでの間、仮設保育所を借り上げ保育を実施した。 仮設保育所借上料 4,132千円			
期待される事業効果等 に対する達成状況	達成	(左の理由)	4保育所を統合することで経費が抑制されているため。	

行革効果

行革効果の考え方	■4保育所の統合に係る行革効果は以下のとおり					(単位:千円)			
	保育園	人件費	物件費	合計	備考				
	吉原保育所運営経費	26,614	8,466	35,080					
	長岡保育所運営経費	24,951	4,629	29,580					
	新山保育所運営経費	57,503	9,386	66,889					
	丹波保育所運営経費	20,494	3,264	23,758					
	旧保育所 計	129,562	25,745	155,307					
	峰山統合保育所運営経費	81,584	18,891	100,475	運営はH26年度から				
行革効果額	47,978	6,854	54,832						
年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度				
行革前(a)	155,307	155,307	155,307	155,307	155,307				
行革後(b)	100,475	100,475	100,475	100,475	100,475				
行革効果(a)-(b)	54,832	54,832	54,832	54,832	54,832				

(記載要領)

- 1 事業毎に調書を作成すること
- 2 「期待される事業効果等に対する達成状況」については、「達成」、「未達成」を記入し、その理由を右欄に記載すること。